

注意報第1号

各関係機関団体の長  
各病害虫防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察注意報第1号について

このことについて、病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

ナシ

- 1 病害虫名：黒星病
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生量：多い
- 4 注意報の根拠
  - (1) 4月5半旬の定点調査結果は、次のとおりである。

発病葉率	0.4%	(平年：0.1%、前年：0.1%)
発生ほ場率(発病葉)	40.0%	(平年：9.2%、前年：13.3%)

発病葉率は過去10か年で2番目に高く、発生ほ場率は最も高い。
  - (2) 主要感染時期である開花期間に曇りや雨の日が多く感染に好適であった。
  - (3) 4月中下旬の降雨により感染が拡大している可能性がある。
- 5 防除上注意すべき事項
  - (1) 発病葉や発病果実は伝染源となるので、見つけ次第取り除き焼却または埋没する。
  - (2) 今後降雨があると発生が増加する恐れがあるので、防除を徹底する。
  - (3) 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連用を控える。なお、効果が劣る場合は他の系統の薬剤を使用する。
  - (4) 防除薬剤は「平成19年度果樹病害虫・雑草防除の手引き」及び「福岡県ナシ防除マニュアル」を参照し、農薬使用基準(適用農薬、処理濃度、使用時期・回数)を遵守する。